


提出 順番	No. 5	令和 4 年 6 月 3 日 (午前)・午後 10 時 7 分受領
----------	----------	--------------------------------------

令和 4 年 6 月 3 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小田 新紀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
「オリンピックのまち」としての地方創生の在り方について	<p>我が町においては、オリンピックをはじめ、トップアスリートが複数種目において輩出されております。人口比率から見ると、国内はもちろん、世界でも珍しいことと言われております。</p> <p>昨年開催された「東京オリンピック」、今年開催された「北京オリンピック」においても、町内出身選手が出場し、町民の多くが注目したところと感じております。</p> <p>一時は5名の現役オリンピック選手が活躍されており、町においては、選手の応援など、現役選手としての彼らを中心とした事業が多く組み込まれておりました。</p> <p>しかし、その後、ほとんどのオリンピック選手が現役引退を発表されたところであります。</p> <p>まさに、これからが「オリンピックのまち」として、どのようなまちづくりを目指し、推進していくのか、真価が問われるところであると考えます。</p> <p>2018年度から3年間、国の補助金を活用して推進した「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」においては、スポーツを軸とした「町の活性化」といった、まさに地方創生の目的がありました。</p> <p>また、昨年度に作成された「第1期スポーツ推進計画」においても『「オリンピックの町・幕別町」を広げよう!』の項目で各種取り組みが明記されているとこ</p>

ろであります。

こうした世界でも珍しい地域であるという「優位性」や「価値」をどのように認識・評価しているのか。

また、町内外において、どのようなプロモーションや、意識の醸成をしていくのか。単なるスポーツ普及や推進等に終わってしまわないような、「まちづくり全般における戦略的な事業」を構築していく必要があると考え、以下の点について伺います。

- 1 「オリンピックのまち」として、オリンピック・パラリンピック精神に基づいた取り組みは。
- 2 交流人口の拡大に向けた取り組みは。
- 3 基幹産業の農業をはじめとした産業界との連携によるスポーツツーリズムやスポーツコミッションに向けた動きは。
- 4 学校教育との連携は。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。